



『ヒューマン・ハーバー“T.O”』

“Only as for giving it a way”

〔“偉人間交流会”・『語ろう会』会長：小川 正〕

オーストラリア(ゴールドコースト)見てきました！

(2003/09/29～10/03)

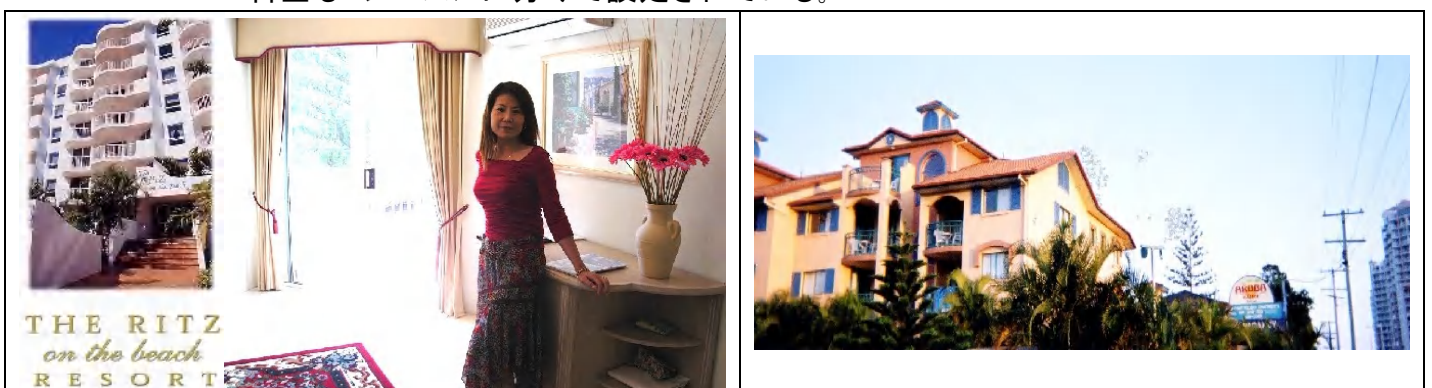
初めてで短期間の事で大した情報ではございませんが、感想とこれから行かれる方のヒントになればと『海外視察研究会(FIRG)』9/24 開催に合わせて、簡単にまとめてみました。

ゴールドコーストの概要

- ①位置 南緯26度・東経153度（東京は、北緯37度）・・・日本との時差1時間。
オーストラリアには、5州がありその北東に位置するクィーンズランド州の南東に位置するリゾート都市。
- ②面積 1,402km²
サーファーズパラダイスとの地名が在り、まさに「サーファーの天国」で砂浜海岸が40kmも南北に伸び美しい海が横たわっている。



- ③人口(広域) 425,415 人
豪州6番目の人口を抱かえるリゾート都市。
バカンスを楽しむ方や第二の人生を楽しむ人達での賑わいも、プラスされホテル&ショッピングセンターが建ち並んでいる。
我々も宿泊したのですが、滞在型のリゾートマンションが非常に多く見られ、それらの料金も3シーズンに分けて設定されている。



- ④気候 亜熱帯性気候／年平均最高気温:29℃：年平均最低気温:21℃
日本と殆んど反対の季節感ですが、それ程4季がハッキリしているとは言えない様に思いました。(夏のピークシーズンは、12月～3月)30度を超える事も少なく、湿気が少なく(降雨量も少ない)爽やかである。
でも、年間を通じて水温は高くプールに入れるのです。
我々の宿泊したコンドミニアム(リゾートマンション)にもプールがありまして、そのプールの水は海水なのです。日本では考えられないくらいプールは普及しております。

【私自身の見聞録】

①コーヒーの注文の仕方

「ブラック」と言ったのに、「ミルク&砂糖が入っている」？

AUSTRALIA は、酸味と甘味が好きなお国柄！

スーパーでも「エスプレッソ・ブラック」と表示された物を買ったのですが、「ミルクコーヒー」なのです。・・・どうなっているの？

日本で言われるブラックは、「ロング・ブラック」と注文するのです。エスプレッソは、「シヨート・ブラック」と注文するのです。

なお、大型スーパーでも日本のブラックは売られていませんよ。

自動販売機も少なく、缶コーヒーや日本の缶入ブラックは在りません。

コココーラの自動販売機を見る程度で、日本の様に自動販売機が並んで置いてある所は見受けませんでした。

②タクシーのドアの開閉は手動

待っていても開かないし、乗れない！

アメリカや中国などで見られる、運転席との間仕切りガード板は見られず治安の良い事は納得できるのですが、日本ほどサービスはよろしくない。

「リムジン」は、これ？

空港にリムジンお迎えを頼んでおいたのですが、え！これが「リムジン」と家内と娘と顔を見合わせました。納得出来なかったのですがオーストラリアでの「リムジン」は、ただ単なるワンボックスカーなのです。・・・日本のホテルでお迎えの「リムジン」とは、大きく異なり、計り知れない文化の差でしょうか。

③紫外線は、日本の5倍以上

日本の湿気の多い気候に慣らされている者は！

爽やかで油も浮かず汗も出ないのですが鼻が乾いて鼻の中が痒くて、家内は肌の痒さつきが出しました。

それなのに、「日傘」を見ないのです。又、帽子も余り見られないのです。

④自転車に乗って走り回る人を見ない

事由は解りませんが、日本都市部は自転車が溢れているのに「ゴールドコースト」では、本当に見ません！

タクシーやバスに乗っていて、自転車屋も見なければ家電ショップを見受ける事が有りませんでした。

⑤潮流が厳しく、遊泳を楽しむ海では無い

潮位が2mも増減する！

海から30~40kmの、入り江や川は海(塩)水である。

ある富豪が豪邸を購入したものの、この潮位の増減を理解しておらずに自家大型クルーザーが橋の下が通行できずに、購入後1週間で豪邸を売りに出した話も最近にあったらしい。

川口では鮫も現れて、のんびりと海水浴を楽しめる地域では無いし、僅か数分で100m~200m潮流で流されるらしい。

サーフィンに適しているが海水浴は、楽しめないのでプールが普及しているのか？

⑥バーベキューの設備が、至る所に在る

オーギーは、バーベキュー好き！

理屈無く好きらしい。

チョットした公園には、必ずといってバーベキューの設備が在り、自由に使える様子です。

コンドミアム(リゾートマンション)にも殆んど、野外にバーベキューの設備とプールが在ります。



⑦やはりロブスターを、食べました

日本では考えられないジャンボサイズで、身も締まってとても美味しく堪能！

全長60cm以上あったのでしょうか。それを2匹、刺身をタツプリと味噌汁で戴きました。味噌汁の中にある足を、真ん中で割りますと新鮮なのか身は割れずに、ペロッと身が片方に残って、するっと口に入るのです。

6人で楽しみ、その他色々な料理を戴き納得価格でした。



(日本料理店「山家」の御主人様に、特別にお取り寄せ頂きました。)

⑦「シンさん」に逢いました

井戸信介(1971年東京都生まれ)、サーフショップ“NEV”(ネブ)日本市場責任者
高校卒業後、英語圏への留学を望み両親に！

両親は反対しませんでした。治安の悪いアメリカだけは認めないので広大なイメージを持っていたオーストラリアに留学された。
ゴールドコーストの語学学校に1年半通学後ボンド大学へ入学し、徹底的に英語をマスターした。
オーストラリア(ゴールドコースト)に来たと同時にサーフィン始めて、行き付けのサーフショップ“NEV”(ネブ)で大学3年にアルバイトして、そのまま現職に至っている。
彼は「その国の事を理解するのが大切！」と、語る。



「アバウトなオージー」…例えば、ボードを赤色で注文したが、オレンジ色に仕上がってしまってもOK。…傾向が同色系であれば問題は無い様です。
「英語はどんな相手とも対等」…日本語では年齢が上の方へ謙譲語を使ったりと、英語圏では考えられない。変な気を使わずに全てがフレンドリーに話す、すべを知っている。

⑧閉店時間の早い事

午後5時・6時にスーパー&ショッピングセンターなどが、閉店する！

オーストラリア(ゴールドコースト)に着いた当日ショッピングセンターを見学して、コンドミニアムへの帰路で食品を買い求めて部屋でのんびり食事をと考えていたのですが、日が暮れ始めると店も暮れてしまうのです。



⑨右折れ車最優先

日本程、信号は多くありませんが、ロータリータイプの交差点が目につきます。
日本と同じ左通行なのですが、右側優先で特に右折れの車が最優先とは日本と違うところですよ。

⑩紙が高い

聞いただけで裏づけは取れておりませんが、紙製品は高いので日本からの持込が良いですよ。

⑪留学生を世界から受入れるのも産業

リゾート地で産業らしきものが見当たりませんが、留学生の受入れは間違いなく外貨獲得の大きな産業ではと感じました。

自動車メーカーもオーストラリアで1社のみ、ガス事業も無い。

日本車が50%を超えているのでしょうか。

⑫乳児と幼児は見るが、子供や学生を見ない

現地の居住地区や現地住民に密着したスーパーなどへは、行かなかったので何とも申し上げられませんが、私が見てきた観光繁華街では本当に日本で見られる様な、小学高学年・中・高生達が発歩する様な場面は全く見なかった。

夜、食事に出かけたレストランでも本当に小学高学年・中・高生達を見ないので。

⑬全体的に肥満体系

私も痩せて見られるぐらい、若い女性も含めて肥満体系の方が多く、又、食事の量も相当多目です。(デザートも凄いボリューム！)

その他、生活習慣の違い

- ①バスや電車内では一切のアナウンスがありませんので、降車場所に注意。
- ②緊急時の電話No.「000」で、警察・消防・救急車が同じ番号。
- ③タバコは日本の2倍以上と高く、禁煙エリアも多くて愛煙家には不自由。
- ④「a.y.o」と表示のあるレストランは、アルコール等の持込可。
- ⑤ガソリンスタンドは、全てセルフ。高速道路のサービスエリアには、マックが併設。
- ⑥多民族・多文化・他宗教と、移住者が多く何でも有りの多彩な国。
- ⑦新聞の戸別配達は普及していない、新聞スタンドでの購入が一般的。
- ⑧紙幣はプラスチック製で、濡れても大丈夫。
- ⑨卵は賞味期限を永く保つ為に防腐剤含入が多く、生で食べない方が良い。

